



経営者・管理職が学ぶ「人が活きる会社づくり」

こんにちは。暑さも和らぎ秋に向かいつつありますね。6月から7月にかけて、経営者・管理職を対象とした、人材育成や社員のキャリア形成、働きやすい職場づくりについて学ぶ4つの研修会を開催しました。

長野・諏訪・飯田で開催した『ライフデザインセミナー&座談会』では、各会場30～50名の参加者が集まり、(株)SP総研代表取締役 民岡良氏と(株)セナオス代表取締役 高橋俊晃氏を講師に迎え、人手不足時代に「選ばれる企業」になるための人材確保や、若年層の価値観に寄り添った職場づくり、人を「コスト」ではなく「資本」として捉え、社員一人ひとりの力を引き出し企業の成長につなげる人的資本経営について学びました。講演後の座談会では、今日の講演で感じた事や、これからの経営者と働く方々との関係、どうしたら皆がワクワク働けるか?について参加者同士で意見を交わしました。

長野会場



諏訪会場



飯田会場



- *人を「コスト」ではなく「資本」と捉え、人への投資を進めたい
- *会社が求めることと、社員が望むことのギャップを埋めることが大切
- *社員一人ひとりのスキルや強みを把握・可視化し、適材適所につなげたい
- *若手社員の価値観やライフデザインを理解し、成長を支援したい
- *採用だけでなく、入社後の育成・定着・活躍まで考える必要がある

3会場での座談会の 主な意見

- *社員が安心して長く働ける職場環境を整えたい
- *日々のコミュニケーションや1on1など、対話する時間を大切にしたい
- *社員が意見やアイデアを言いやすい、心理的安全性のある職場をつくりたい
- *仕事のやりがいや成長を実感でき、社員が「ここで働きたい」と思える会社になりたい
- *経営者・管理職が社員の声に耳を傾け、会社と個人がともに成長できる経営を目指したい

NagaHaLo(ナガハロ) キックオフミーティング



7月に開催した『NagaHaLo(ナガハロ)第2期キックオフミーティング』では、女性経営者ら11名のメンターと、異なる企業で働く22名のメンティが集まりました。県外で活躍する県内出身の女性管理職3名によるトークセッションでは、東京での活躍のお話に加え長野で働く女性へエールをいただきました。企業の垣根を越えて経験や悩みを共有し、互いに学び、新たな視点を得られる実践的な学びの場として、来年3月まで合同研修やメンタリングセッションが続きます。